

第 21 回／2023(令和 5)年度 通常総会

“全国ビオトープ人の出会い”

◇ 議 案 書 ◇

議 題

- | | |
|---------|-------------|
| 第 1 号議案 | 2022 年度事業報告 |
| 第 2 号議案 | 2022 年度決算報告 |
| 第 3 号議案 | 2023 年度事業計画 |
| 第 4 号議案 | 2023 年度収支予算 |
| 第 5 号議案 | 役員の改選 |
-

2023 年 6 月 23 日(金)

静岡県男女共同参画センター「あざれあ」5 階 502 会議室
(静岡市駿河区馬淵 1 丁目 17-1)



特定非営利活動法人

日本ビオトープ協会

第1号議案 2022(令和4)年度事業報告

■総括

NPO 法人日本ビオトープ協会は法人格取得から19年(平成5年の協会設立から29年)を迎え、活動の方向性も地区を中心とした、地域の自然環境に配慮したビオトープの保全・創出活動を展開してまいりました。

2022年度は、新型コロナウイルス感染症の状況をみながら各地区活動を行いました。総会後の公開フォーラム「ビオトープフォーラム in 東京 2021」は予定通り開催、延期していた「ビオトープアドバイザー認定試験研修会・仙台」は、2022年11月に開催いたしました。

このような状況下であればこそ、自然環境、ビオトープの重要性は益々増していると実感しております。これからも、環境・社会に貢献する事業をさまざまな角度から展開し、また各地域皆様のご要望に応えた研修会開催等、一層のビオトープ事業の啓蒙と技術者養成をはかる所存です。

具体的な活動を下記ご報告申し上げます。



総会の様子

1. **総会** 「第20回通常総会」

日時:2022年6月17日(金) 11:00~11:30

場所:全水道会館4階大会議室(東京都文京区)

協会代表顧問・横浜国立大学学長の鈴木邦雄先生、協会顧問の立川周二先生を来賓にお迎えし、司会進行は鈴木元弘副会長、議長は久郷慎治副会長にて、櫻井淳会長より挨拶があり、2021年度の事業報告・決算報告承認後、2022年度事業計画・収支予算案を説明した。

2. **フォーラム**(総会後の公開講座)

「ビオトープフォーラム in 東京 2022」-子どもの遊びとビオトープ-

日時:2022(令和4)年6月17日(金)13:00~16:40

場所:全水道会館4階大会議室(東京都文京区)

主催:NPO 法人日本ビオトープ協会

共催:自然環境復元学会

後援:環境省、文部科学省、農林水産省、国土交通省、日本造園学会、

日本造園建設業協会、一造会、IGES 国際生態学センター(順不同)

参加者:60名

(プログラム)

司会 理事・総務副委員長 藤井信良

開会挨拶 会長 櫻井淳



フォーラムの様子



【第1部】

第14回ビオトープ顕彰 受賞ビオトープ 表彰式

講評 鈴木邦雄顕彰委員長

・ビオトープ大賞:「トヨタツの森 TOYOTETSU FOREST」(中部地区、愛知県)

・ビオトープ大賞:「日産バイオパーク西本郷」(北陸・信越地区、富山県)

・学校ビオトープ大賞:「学校観察園 ホタルの森」(関東地区、茨城県)

・環境活動推進賞:「寒河江慈恩寺 ホタルの里プロジェクト」(北海道・東北地区、山形県)

・地域貢献賞:「西中ホタル保存会 SDGs M Biotop Garden」(中部地区、愛知県)

事例発表 「トヨタツの森」「日産バイオパーク西本郷」「学校観察園 ホタルの森」



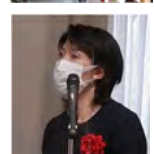
【第2部】

基調講演「新たな『都市の自然観』の形成に向けて～新潟の自然から学んだこと～」

新潟大学名誉教授、NPO 法人新潟水辺の会顧問、日本ビオトープ協会顧問 大熊孝氏

特別講演「教育現場と創る環境教育プログラム～都市・里山・農山村の事例から～」

東京農業大学 地域環境科学部 地域創成科学科 教授 町田怜子氏



閉会の辞 理事・北海道東北地区委員長 佐竹一秀

本年度のフォーラムのテーマは、「子どもの遊びとビオトープ」といたしました。全水道会館を会場に、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、予定通り無事に、充実した内容で開催することができました。

関係官庁他のご後援と講師の先生、協会の方々をはじめ、皆様にご協力をいただき、心より厚くお礼申し上げます、今後ともご指導・ご鞭撻のほどをお願い申し上げます。

◇フォーラム報告書は協会 WEB 活動実績ページ等に UP(下記)

<https://www.biotope.gr.jp/wp-content/uploads/20220617fo.pdf>

◇第 14 回ビオトープ顕彰 受賞ビオトープ、報告書は協会 WEB 顕彰ページ等に UP(下記)

<https://www.biotope.gr.jp/wp-content/uploads/No14kensyo-kouhyou.pdf>

又は協会誌「ビオトープ No.50」P.21-23 掲載

◇顕彰事例発表 3 件、基調・特別講演の映像を YouTube で公開

YouTube→「日本ビオトープ協会」検索→チャンネル登録にて各映像を視聴

※交流会、2 日目エクスカージョン(現地見学会)は、新型コロナウイルス感染症対策のため、中止とした。

3. 常任委員会の活動報告

A) 総務委員会

協会員である事が価値感を感じる活動を新規検討する。

法人会員・個人会員ともにそれぞれが価値観を感じるものを具体的に実施する方向で進めて行く。

元気な事例から学び行動計画を立案し実行していく。それに向けて全会員で挑戦していく。

- ① ビオトープだよりの発行
- ② 会員からの相談事項への対応
- ③ 会員間のズーム会議の試行
- ④ 出前授業の開催
- ⑤ 「ビオトープってなあに？」冊子、「ビオトープづくりの心と技」本の活用
- ⑥ ビオトープの新技术の紹介
- ⑦ 顕彰の募集のアシスト
- ⑧ BA 更新のアシスト
- ⑨ 年 2 回総務委員会の開催
第 1 回総務委員会
日時:2022 年 8 月 5 日(金)13:10~14:10 Web 会議(Zoom)
各地区・委員会活動状況の確認・検討、フォーラムについて検討・決定
第 2 回総務委員会
日時:2023 年 3 月 17 日(金)13:30~15:00 Web 会議(Zoom)
2022 年度各地区・委員会事業報告、2023 年度計画書のチェックと、未提出の地区への連絡。第 15 回ビオトープ顕彰応募状況の確認、法人会員へのサポート、来年度総会・フォーラム、研修会案他を検討
- ⑩ 射水ビオトープフォーラムのアシスト

B) 情報委員会

- ① 機関誌「ビオトープ No.50」2022 年 8 月末発行
機関誌「ビオトープ No.51」2023 年 1 月末発行
- ② 第 1 回情報委員会
日時:2023 年 2 月 27 日(月)15:20~17:00 Web 会議(Zoom)
協会誌 52・53 号企画会議 正副会長会議メンバー協力

C) 研修委員会

- ① 「事例で学ぶ ビオトープづくりの心と技一人と自然がともに生きる場所」販売促進 各イベントにて販売

- ② 認定研修会等への協力
 - ・BA 認定試験研修会・仙台開催
- ③ 現地研修会の実施
 - ・企業ビオトープの見学研修会(新型コロナの感染状況により中止・延期)

D) 技術委員会

- ① BA へのフォローとして、技術情報・メモの作成・発信 (WEB に UP、ML)
 - ・技術メモ No16「実験から生まれる新たな技術」2022 年 5 月発信
- ② 各種技術指導、各地区フォローアップ
 - ・静岡地区の里山整備は落札業者変更で次年度調整

E) 顕彰委員会

- ① 第 14 回顕彰委員会(2021 年度募集)
 - 日時:2022 年 4 月 14 日(木)11:00~13:00
 - 場所:連合会館 5 階 502 会議室
- ② 第 15 回(2022 年度)ビオトープ顕彰募集は例年通り推進
 - ・募集締め切り:2023 年 3 月 10 日
 - ・募集案内は 9 月に会員・BA メーリングリストへ、協会 WEB に UP
 - 2023 年 4 月 13 日顕彰委員会開催 連合会館



■ビオトープアドバイザー資格関連研修会

【ビオトープアドバイザー認定試験研修会】

◎第 40 回ビオトープアドバイザー認定試験研修会 in 仙台

日時:2022 年 11 月 24 日(木)・25 日(金)、26 日(土)※26 日は自由参加、見学会

会場:東北大学青葉山新キャンパス 見学:地底の森ミュージアムビオトープ

受講者:新規 21 名、更新 3 名

【ビオトープアドバイザー更新】

・2022 年度更新対象者 42 名(計 11 か所)、うち更新 19 名(他年度更新対象者含む)

【主席ビオトープアドバイザー 新規・更新】

◎第 10 回主席 BA 認定研修会

日時:2021 年 9 月 15 日 13:00~13:30【Web・Zoom】

審査:鈴木邦雄先生

新規:2 名 ビオトープ指導の得意分野を説明・発表

◎第 10 回主席 BA 更新 ※更新者は今年度書類・レポートでの審査となった。

更新対象者 4 名

書類審査:鈴木邦雄先生

現在、35 名の主席 BA が全国で活躍中

4. 地区委員会の活性化

ビオトープに優秀な技術・ノウハウを有している法人会員、地区で活動している個人会員、ビオトープアドバイザーが力を結集し、地域性の強いビオトープの復元・創出して社会に貢献していくために、地区委員会事業を第一義に活動してきた。全国 8 地区の地区委員会はその土地に応じた様々な事業を実施し、ビオトープの理念、啓蒙の発展に貢献した。

■地区の活動報告:研修会・視察会、共催事業の実施

<北海道・東北地区>

1. ビオトープアドバイザー(BA)認定試験研修会・仙台 新規、更新・スキルアップ研修会

日時:2022 年 11 月 24 日(木)~11 月 26 日(土) ※26 日は自由参加、見学会

会場:東北大学青葉山新キャンパス 見学:地底の森ミュージアムビオトープ

受講者:新規 21 名、更新 3 名

2. 協会後援の野外イベント『ほしぞら映画×マルシェ(子供達の未来に豊かな自然を残したい)』

10月11日福島県いわき市 Sah,いわき湯本温泉・美風の宿。協力・ブース出展

3. 大槌町「ミズアオイの池をみんなで守る会(臼澤良一会長・4月23日結成)」支援

①湧水池埋土種子攪乱作業・ヤナギ挿し木及び木道設置作業

②エリアの草刈りと観察会(6月26日実施)

③開花時に町民対象の観察・講話会開催(8月20日)

④隣接地へ湧水導入・ミズアオイエリア拡大試行中



大槌町



いわき市

4. 寒河江慈恩寺「ホタルの里プロジェクト」の支援

①マコモダケ水田の維持管理

②ビオトープゾーン内ハス池の整備

③「里山と環境保全」に関する小学生対象のセミナー及び視察会の開催



寒河江慈恩寺

5. いわき市三和町「ホタル水路再生計画」の支援

①ホタルの生息調査・捕獲・小学校主催ホタル放流会の実施

②三和小学校児童によるカワニナの繁殖(前年度より継続実施)

③ホタル水路・ハナショウブ田の維持管理

6. 第40回全国都市緑化仙台フェア参加検討会

9/27 平塚顧問、地区委員による検討。ミズアオイを中心にしたワークショップ、展示による参加予定

7. 会員の拡大

BA 仙台研修会受講同時新規個人会員入会 4名(宮城県1名、千葉県1名、神奈川県2名)

<関東地区>

1. ビオトープフォーラム in 東京 2022 企画運営

2. 自治会・学校ビオトーププロジェクト継続支援実施

・村松小ビオトープ ホタル放流会(東海村)

・前渡小前渡小ほたるの森 ホタル観察会(ひたちなか市)

・常葉台ビオトープ ホタル観賞会(ひたちなか市)

・高野宿ビオトープ ホタル観察会(ひたちなか市)

・高野宿ビオトープ生物調査実施 計3回

3. 前渡小ほたるの森、クールアース茨城・脱炭素チャレンジカップ参加支援

4. 地場ホタル飼育活動の継続実施

5. 水戸市立上大野小学校ビオトープ施工管理協力

6. Facebook等SNSを使った地区情報発信の継続

※Facebook:「日本ビオトープ協会 関東支部」

7. 他団体との情報連携強化

8. 会員拡充

BA 仙台研修会受講同時新規個人会員入会 4名うち3名関東(千葉県1名、神奈川県2名)



フォーラム 顕彰事例発表



村松小ホタル放流会

<北陸・信越地区>

1. 射水ビオトープ現地視察会と2月フォーラムの打ち合わせ(射水ビオトープ協会との開催)

2022年12月20日(火) 射水ビオトープ、金山公民館にて

参加者:横田副知事、ビオ協久郷副会長、梶岡総務委員長、

岡田氏(ビオ協個人会員、射水ビオトープ協会理事長)、他

2. 「ビオトープフォーラム in 射水」<日本ビオトープ協会共催>の開催

2023年2月25日(土) 14:00~16:20

アイザック小杉文化ホール ラポール

・基調講演:東京都市大学特別教授 涌井史郎氏

・特別講演:富山県副知事 横田美香氏

3. 会員増強



現地視察会

<静岡地区>

1. 麻機遊水地保全活用推進協議会の参加協力
 - ・麻機遊水地クリーン作戦 5月21日参加
2. 麻機湿原を保全する会 活動協力
 - ・ミズアオイ、オニバス自生地の周辺環境整備 10月7日実施
 - ・サクラタデ観察会 10月15日 実施
 - ・ミズアオイ、オニバス自生地の攪乱作業 3月15日実施
3. 「ホテル水路づくり研修会」への協力 6/3、7/25、10/17、11/1、2/6 参加
4. 企業ビオトープ(静岡県御殿場市) 植樹祭 植栽指導協力 6/4 実施
5. 学校ビオトープ環境整備支援(ホテル環境整備、植栽) 3/27 実施
6. 会員募集



サクラタデ観察会



企業ビオトープ 植樹祭

<中部地区>

1. 中部ブロック会議の開催(中止)
2. BA スキルアップ研修会の開催(中止)
3. ビオトープ勉強会の開催
月日 2022年2月17日(金)
寿恵野小学校「ビオトープ学習発表会」4年生児童 115名
4. SDGs AICHI EXPO 2022 in Aichi Sky Expo
月日 2022年10月6日(木)~8日(土)
会場 愛知国際展示場(Aichi Sky Expo)展示ホール A
日本ビオトープ協会中部地区の活動紹介等のパネル展示
来場者数約14,000人、協会のブースにもたくさんの方々にご来場いただきました。
5. 企業ビオトープの見学研修会(中止・延期)
6. 協会本『ビオトープづくりの心と技』の販売活動
7. 会員募集 法人・個人会員
2022年4月 法人会員入会1社(愛知県)



ビオトープ勉強会



SDGs AICHI EXPO 2022

<近畿地区>

1. 西の湖 文化的景観地のヨシ焼 地主による指導 2022.4.1~2023.3.31
2. 盤石跡地調査 2022年4月~2023年3月(ビオトープ池)継続事業
3. ‘蒲生の湯’敷地内の小さなビオトープ池の調査
4. 竜王町貯水池、動物、植物調査、観察会
5. 佐久良川ほか河川環境保全工事(保全地回避)後の希少生物環境保護のための調査に協力
6. 会員拡大



<中・四国地区>

1. 古鷹山ビオトープ春の観察会
 - ・日時:2022年6月25日(土)10:00~12:00
 - ・場所:江田島市古鷹山ビオトープ
 - ・講師:スタッフ5名 参加者:24名
 - ・内容:昆虫採集。火起こし体験他
2. 切串小学校 古鷹山学校林 ビオトープ自然体験学習会
 - ・日時:2022年7月27日(水)
 - ・対象:6年生(10名)+先生(1名)
 - ・内容:学校林の植物と生き物の観察と植物標本づくり
3. 古鷹山ビオトープ 秋の自然観察会
 - ・日 時:2022年10月15日(土)10:00~12:00
 - ・場 所:江田島市古鷹山ビオトープ
 - ・講 師:スタッフ:5名 参加者:36名



学校林観察会



・内 容:生き物観察、火起こし体験(舞錐式)

豪雨災害の復旧工事から1年半、古鷹山ビオトープ周辺では徐々に生き物の種類も増え、ヤゴやゲンゴロウ、タイコウチ、マツモムシ、数種類のトンボやハンミョウ、バッタなどを採集し観察。火起こし体験では、3名が見事成功！秋の味覚、アケビや焼き芋も堪能し、とても楽しい観察会となった。

4. 会員拡大

<九州地区>

1. 地域自治体・学校ビオトープ活動支援実施
2. 海岸浸食状況把握・日向灘ウミガメ孵化送り出し会
3. 蛍の里環境清掃・学習会
4. SDGS の 17 項目の 2. 7. 14. 15 の推進
5. 会員拡充の継続呼びかけ



CSR 推進企業とのコラボレート(協働)

ビオトープの創出・復元の知識、技術のある会員は CSR 活動をして緑の再生、環境づくりに参画して社会貢献しようとする企業をバックアップ

「ホテルがすむ街づくり展 2022」→新型コロナウイルス感染症の状況を見て中止

ホテル水路づくり研修会

神奈川県東京農業大学伊勢原農場にて、市民や学生が参加し、協会員・ビオトープアドバイザー(BA)の研修も行う「ホテル水路づくり」を開催中。

なお、2013 年度は大和ハウス工業株式会社・従業員の皆様より、当協会の活動にご賛同、ご寄付をいただき、また 2014 年度から東京農業大学教育後援会様より費用のご協力もいただいている。

「ホテル水路づくり研修会」

場所:東京農業大学・伊勢原農場〒259-1103 神奈川県伊勢原市三ノ宮前畑 1499-1

計画:市民や学生が参加し、協会員・BA の研修会も行う「ホテル水路づくり」を開催。地域の環境学習・交流の場として、ビオトープを通して身近な自然とのふれあいの中で生命の重みを実感できる場所になることを目指す。今後、ホテル水路づくりの管理も含め、継続して行う予定。

2022 年度は下記

第 65 回 4 月 18 日(月)草刈り、生き物調査、講義等

第 66 回 6 月 3 日(月)夜間 ホテル生息調査

第 67 回 6 月 27 日(月)河川整備等

第 68 回 7 月 25 日(月)河川整備、剪定作業等

第 69 回 10 月 17 日(月)粗朶護岸補修作業、河川整備等

第 70 回 11 月 14 日(月)セキショウ植栽、河川整備等

第 71 回 2023 年 2 月 6 日(月)河川整備、講義等

第 72 回 3 月 13 日(月)午前中雨のため講義、午後放流・観察

※月 1 回の予定で開催(新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら)、随時参加者募集中

詳細・案内は協会 WEB ページ <https://www.biotope.gr.jp/>をご覧ください。



学校支援

「大井町自然観察再生園」一都会における自然環境の復元一

学校法人小野学園(東京都品川区)が、学校内にホテル自生研究室を設置、また学園の管理する敷地に学校ビオトープを作り、2011 年「第 22 回緑の環境デザイン賞」の「国土交通大臣賞」を受賞。協会では全面的に協力、継続してバックアップを行っている。



自然環境復元学会への後援・協力

「第 23 回全国大会(研究発表会)」

日時:2023 年(令和 5 年)2 月 17 日(金) 9:30~17:45

会場:日本大学理工学部/オンライン開催

主催:自然環境復元学会 後援:特定非営利活動法人 日本ビオトープ協会(賛助会員)

内容:若手発表、一般発表、特別講演

6. **特別委員会(顕彰委員会)**

2022 年度に募集したビオトープ顕彰の審査を 2023 年 4 月に実施

第 15 回目となる優秀なビオトープの顕彰は多くの応募をいただき、顕彰委員会委員長・協会代表顧問の鈴木邦雄先生はじめ、各委員の真剣な審査の結果、受賞ビオトープが決定した。

「第 15 回顕彰委員会」

月日:2023 年 4 月 13 日(木) 場所:連合会館 205 会議室(東京都千代田区)

審査結果

- ・学校ビオトープ大賞:「どじょりんのビオトープ」(中部地区、愛知県)
- ・審査委員長賞:「もりバイオ」(近畿地区、滋賀県)
- ・CSR 特別賞・地域貢献賞:「ビオトープ富士」(静岡地区、静岡県)
- ・環境活動推進賞:「大槌町郷土財活用湧水エリア ビオトープ」(北海道・東北地区、岩手県)
- ・協会会長賞(プロアクティブ活動功労賞):「射水市青井谷西谷地区周辺里山ビオトープ」
(北陸・信越地区、富山県)
- ・CSR 特別賞:「アイシン辰栄株式会社 幸田工場 ビオトープ」(中部地区、愛知県)

○鈴木邦雄顕彰委員長より全体の講評

今回受賞された 6 件は、いずれも特色あるビオトープ創成・維持・活用を行っているものでした。学校ビオトープを 20 年以上環境教育活動として行っている事例、企業の CSR としての事例、絶滅危惧生物などの再生・保護保全の場としての事例、そしてビオトープ大賞を受賞された後もプロアクティブに活動を続けている事業などです。今後も継続してビオトープを場として継続的・発展的に活動を続けられることを期待しています。

〜〜

2023 年度には協会設立 30 年、NPO 法人として 20 年目を迎えます。活動は軌道に乗りつつありますが、各地区において、ビオトープを通じてみどりの環境づくりに貢献する協会として認知されるには、まだ多くの課題があります。

当協会にはビオトープ事業関連に優秀な技術・ノウハウを有している多くの法人会員、地域活動に活発に取り組んでおられる個人会員が参加されておられます。これらの力を結集し課題の解決に努力することが肝要であり、会員各位の格段のご協力をお願い申し上げます。

〜〜

■2022 年度諸会議

- ・顕彰委員会<第 14 回> 4 月 14 日(木)11:00~13:00 連合会館 205 会議室(東京都千代田区)
内容:第 14 回ビオトープ顕彰(2021 年度募集)審査
- ・第 1 回理事会 4 月 14 日(木)13:45~15:30 場所は同上
内容:第 20 回総会議案書(議案:2020 年度事業・決算報告、2022 年度事業計画・収支予算)について、他
- ・通常総会<第 20 回> 6 月 17 日(金)11:00~11:30 全水道会館 4 階大会議室(東京都文京区)
内容:2020 年度事業・決算報告・承認後、2021 年度事業計画・収支予算案を説明
- ・第 1 回総務委員会【Web 会議・Zoom】8 月 5 日(金)13:10~14:10
- ・第 2 回理事会【Web 会議・Zoom】9 月 15 日(木) 13:30~15:20
内容:各地区・委員会の活動計画・中間報告、フォーラム検討、他
- ・役員会議 正副総務・静岡地区長 10 月 10 日(水) 9:30~10:30 連合会館 403 会議室
内容:来年度総会フォーラム企画検討
- ・正副総務役員会議【Web 会議・Zoom】2 月 27 日(月)13:30~15:10
内容:決算中間報告、今年度各地区・委員会の事業状況・報告、来年度総会フォーラム、他
- ・情報委員会【Web 会議・Zoom】2 月 27 日(月)15:20~17:00
内容:協会誌 2023 年度発行 2 号分の企画検討、2022 年度発行 2 号分の報告、他
- ・第 2 回総務委員会【Web 会議・Zoom】3 月 17 日(金)13:30~15:00
内容:2022 年度各地区・委員会事業報告、2023 年度事業計画、ビオトープ顕彰応募状況報告、他

第2号報告 2022年度決算報告

(予算実績対比)

2022年度 収支計算書

2022年4月1日から2023年3月31日 特定非営利活動法人日本ビオトープ協会

単位 円

科目	2022年度 予算額	2022年度 決算額	増減	備考
I 経常収入の部				
1 会費収入	5,970,000	5,960,000	-10,000	個人・法人・賛助会員計
2 事業収入				
① ビオトープ技術者養成事業	600,000	677,437	77,437	主席 BA 認定更新、他
② 事例集書籍販売	75,000	24,900	-50,100	書籍「ビオトープづくりの心と技」
3 助成金 ※	700,000	439,764	-260,236	※農大教育後援会より研修会経費分(ホテルのゆうべ含む)
4 前期繰越金	503,925	503,925		
5 原価戻入		21,240	21,240	ビオトープ維持管理改訂版等冊子
雑収入		3,463	3,463	
経常収入合計	7,848,925	7,630,729	-218,196	
II 支出の部				
1 事業費				
① ビオトープ技術者養成事業	450,000	423,007	26,993	
② ビオトープ啓蒙事業				
資料作成(協会誌、パンフ等)	500,000	477,182	22,818	協会誌
WEB サイト	34,760	34,760	0	サーバー利用料、メーリングリスト用サーバー利用料
常設委員会	200,000	161,694	38,306	総務・情報・研修・技術、他
特別委員会・その他委員会	200,000	116,509	83,491	顕彰、他
シンポジウム・セミナー	300,000	411,750	-111,750	ビオトープフォーラム 2022、2023
各地区委員会活動費、他	400,000	358,110	41,890	
伊勢原・ホテル水路づくり※	700,000	401,307	298,693	
事例集	42,000	27,643	14,357	「ビオトープづくりの心と技」
2 管理費				
旅費交通費	150,000	111,500	38,500	管理費各科目に、総会、理事会関連費用含む
通信費	170,000	114,371	55,629	
会議費	30,000	4,983	25,017	
図書費	10,000	6,052	3,948	
支払手数料	20,000	8,382	11,618	
地代家賃	696,000	696,000	0	
水道光熱費	60,000	53,163	6,837	
損害保険料	6,000	5,980	20	火災保険
手数料	0	0	0	事務所更新費・不動産手数料
給与	3,060,000	3,060,000	0	
法定福利・福利厚生費	514,000	516,330	-2,330	
租税公課	700	91,500	-90,800	商標権更新料等
備消耗品費	50,000	9,573	40,427	
印刷費	50,000	36,762	13,238	
雑費	150,000	101,958	48,042	自然環境復元学会賛助会費、他
静岡事務所	0	0	0	
3 予備費	55,465		55,465	
経常支出合計	7,848,925	7,228,516	620,409	
経常支出差額	0	402,213	402,213	
III その他資金収入の部				
受取利息	0	14	14	
次期繰越正味財産	0	402,227	402,227	

2022年度 貸借対照表

2023年3月31日決算

特定非営利活動法人 日本ビオトップ協会

単位 円

科目・摘要	金額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	75,666		
普通預金・貯金	419,735		
棚卸資産(書籍在庫)	23,749		
前払費用	59,000		
仮払金	9,800		
流動資産合計		587,950	
2 固定資産			
敷金	59,000		
固定資産合計		59,000	
資産合計			646,950
II 負債の部			
1 流動負債			
未払費用	59,547		
前受金	130,000		
預り金	55,176		
流動負債合計		244,723	
2 固定負債	0		
固定負債合計		0	
負債合計			244,723
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産	503,925		
当期正味財産増加額	- 101,698		
正味財産		402,227	
正味財産合計			402,227
負債・正味財産合計			646,950

2022 年度 財産目録

2023 年 3 月 31 日決算

特定非営利活動法人 日本ビオトープ協会

単位 円

科 目	摘 要	金 額
資産の部		
現 金	年度末手元残高	75,666
預 金	普通預金:三菱東京 UFJ 銀行本店	296,789
預 金	郵便振替口座	98,056
預 金	普通預金:ゆうちょ銀行	24,561
預 金	普通預金:静岡銀行本店(静岡事務所)	329
小 計		495,401
棚卸資産		23,749
前払費用		59,000
仮払金		9,800
敷金		59,000
合 計		646,950
負債の部		
未払費用		59,547
前受金		130,000
預り金		55,176
計		244,723
資本の部		
正味財産		402,227

監査書

2022年度収支決算書(自2020(令和2)年4月1日至2021(令和3)年3月31日)、貸借対照表並びに財産目録を別紙の通り提出しますので、監査をお願い致します。

2023年4月13日

特定非営利活動法人
日本ビオトープ協会
会長 櫻井 淳

監査した結果、その正確なことを認めます。

2023年4月13日

会計監査

佐川 憲一 

大場 淳一 

第3号議案 2023年度事業計画

■主たる活動方針

1993年4月、日本ビオトープ協会は全国から志の高い仲間が集まり、静岡県において設立総会が行われました。

2023年度、総会と30周年の記念フォーラムを静岡で開催するにあたって、これまでの活動を思う時、ご指導ご鞭撻を頂きました多くの関係者と、ビオトープ創出活動の重要性を認識されて、ビオトープづくりに邁進されて来られた全国の会員・ビオトープアドバイザー各位に対しまして、改めてご労苦に感謝の意を表します。

近年、地球温暖化が加速され、海流の変化・極圏の凍土や氷雪の融解などから、特に生態系への異常な影響は、われわれ社会活動においても危機感が深まっております。持続可能な将来、自然と人が共生できる世界に向けて、言わば再生可能エネルギー革命の時代を、協会としてどのように取り組み、将来世代へ引き継いでゆくべきか、改めて考える必要があります。

最も求められる自然との共生、生物多様性の推進とそれを維持できる自然環境維持・拡大に向けたビオトープ活動はますます重要さを増してきています。

会員、ビオトープアドバイザーの皆様には今後も引き続きご協力をいただき、各年代、特に若年層に向けてビオトープを正しく伝えると共に、市民・産業界・行政・研究者・教育者・実務者等多様な人々とのパートナーシップで力強く推進してまいりたいと存じます。

2023年4月 会長 櫻井 淳

本年度は以下の活動を行う予定であります。

引き続き、ご協力のほど、なにとぞよろしくお願いいたします。

1. 総会の開催

「第21回通常総会」

日時:2023(令和5)年6月23日(金) 11:00~11:30 予定

場所:静岡県男女共同参画センター「あざれあ」5階502会議室(静岡県静岡市駿河区馬淵1丁目17-1)

2. フォーラムの開催

設立30周年記念「ビオトープフォーラム in 静岡2023」

ー自然との共生を目指して…そして豊かな未来のためにー

日時:2023(令和5)年6月23日(金)13:00~18:00 予定

場所:静岡県男女共同参画センター「あざれあ」2階大会議室

※前年度同様、後日オンライン配信の予定

3. 常任委員会の活性化(各委員会詳細は、P.14-15)

◇各種研修会の内容の充実と、ビオトープアドバイザー(BA)認定試験研修会テキスト改訂版作成等の検討。

◇ビオトープアドバイザー(BA)認定試験研修会 (更新研修会も兼ね)

◇愛知県2023年10月開催検討中

◇主席BA認定研修会、主席BA更新認定研修会の開催

第2回理事会日程に併せ開催:2023年9月14日(木)予定

2023年度更新対象者7名、うち役員4名

研修会日時決まり次第、更新者へ案内、新規受講者の募集・役員へ推薦依頼

◇情報の充実と活用

◇ 機関誌の発刊 「ビオトープ」52号 2023年8月末 発行予定

「ビオトープ」53号 2024年1月末 発行予定

◇ WEBサイトの随時更新とWEB・MLによる会員への積極的情報の提供
月1回「ビオトープだより」発行

4. 地区委員会の活性化(各地区詳細は、P.15-16)

◇協会には、ビオトープ事業関連に優秀な技術・ノウハウを有している多くの法人会員と、地域活動に取り組んでおられる個人会員が参加している。これらの会員の技術、アイデア、経験等の力を結集し、ビオトープの理念を共有化して活動を更に推進する。

また、地域それぞれの特性を生かしたビオトープを復元、創出、撫育、活用し、社会に貢献していくために各地区で研修会、フォーラムを計画、実施を推進する。

本年度も地区委員会の事業の更なる活性化を進め、地区の事業計画を立案し事業の理念を共有化していく。

◇上記活動を研修委員長がフォローしていく。

◇各地区活動状況等を地区長に提出いただき、協会誌(30号より継続中)に掲載する。

◇また、各地区委員の紹介・PR文をWEBにUPし、更新していく。

5. 震災復興に関する支援活動

◇人的・技術的な支援・協力の検討。

◇他団体との連携。

6. CSR推進企業とのコラボレート(協働)、学校支援等を継続

学校・公園・企業ビオトープ等、身近にビオトープを拡大していく。

本年度も、生物多様性に関するセミナーを各地で予定。

◇野村不動産株式会社のCSR「ホテルのすむ街づくり」のイベント計画検討中

◇「ホテル水路づくり研修会」

東京農業大学教育後援会様より研修会経費に対する助成金を引き続きいただく予定

第73回 2023年4月24日(月)河川整備等

詳細、今後の予定は協会WEBページで案内

◇引き続き学校法人小野学園への環境教育支援、全面的なバックアップを行う。

今後関東地区委員が中心となり協会でもフォローしていく。

◇地域の生態系を保全する活動を実践する。

・講師派遣

・ビオトープづくりの技術指導

◇自然環境復元学会への後援・協力

7. 顕彰委員会

第 16 回ビオトープ顕彰の募集(2023 年度)及び審査(2024 年 4 月予定)実施
 ビオトープ顕彰の積極的な展開・活用について検討し推進する。

8. 協会発行書籍・冊子の頒布

ビオトープの利活用資料集「ビオトープづくりの心と技」「ビオトープの維持管理改訂版」を
 使用して勉強会、研修会の開催

9. 会員拡大

会員拡大を各地区の目標とする。

■ 各常任委員会・地区委員会における具体的取組

常任委員会

委員会名	事業内容
総務委員会	1. ビオトープだよりの発行 2. 会員からの相談事項への対応 3. 会員間のズーム会議の試行 4. 出前授業の開催 5. 「ビオトープってなあに？」冊子、「ビオトープづくりの心と技」本の活用 6. ビオトープの新技术の紹介 7. 顕彰の募集のアシスト 8. BA 更新のアシスト 9. 年 2 回総務委員会の開催
情報委員会	1. 協会誌の発行 ・「ビオトープ 52 号」2023 年 8 月末発行予定 ・「ビオトープ 53 号」2024 年 1 月末発行予定 2. 情報委員会開催 協会誌 54・55 号企画会議 2024 年 1-2 月予定
研修委員会	1. 「ビオトープづくりの心と技」販売促進 2. 認定研修会への協力 ・BA 研修会、更新講習会の実施、日程検討、受けたくなる PR 検討 3. 現地研修会の実施
技術委員会	1. BA のフォローとして、技術情報・メモの作成・発信 技術メモの技術範囲を緑・環境分野まで。年 3 回程度 2. 各種技術指導、各地区フォローアップ 静岡地区の里山継続整備:ポット苗継続生育調査等 3. 対外的提案受注活動
顕彰委員会	1. 第 15 回顕彰委員会(2022 年度募集。2023 年 4 月審査) 2023 年 4 月 13 日 連合会館 2. 第 16 回(2023 年度)ビオトープ顕彰の応募・顕彰規定検討、募集推進

地区委員会

地区名	事業計画内容
北海道・東北地区	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第40回全国都市緑化仙台フェア出展 <ul style="list-style-type: none"> ・出展エリア:ウエルカムゾーン・交流体験スペース「仙臺緑彩館」 ・区画:No.7(32㎡) ・出展期間:期間 B 搬入5月1日(月)～5月7日(日)撤去 ・出展内容:震災復興に於けるミズアオイ再生(ワークショップ的要素を含む展示)。ポスター展示と説明員配置、ミズアオイ実物展示、ポタルニカルアート展示。ミズアオイ埋土種子顕微鏡検出とモニター投影、ディスプレイ:ミズアオイ動画、静止画。ミズアオイの生態と日本人との関わり歴史的解説等 2. 大槌町「ミズアオイの池をみんなで守る会」支援 <ul style="list-style-type: none"> ・イオン環境財団からの助成金確定(ビオトープ池周辺域の地盤改変・植樹・湿生池の拡大・野草刈取りなど) ・4月22日(土)ミズアオイ湧水池埋土種子攪乱・ヤナギ挿し木作業 ・8月町民見学会とミズアオイ試食会 3. いわき市三和町「ホタル水路再生計画」の支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ホタルの生息調査・捕獲・小学校主催ホタル放流会の実施 ・三和小学校児童によるカワニナの繁殖(継続実施) ・ホタル水路・ハナショウブ田の維持管理 4. 寒河江慈恩寺「ホタルの里プロジェクト」の支援 <ul style="list-style-type: none"> ・4月マコモダケ株の掘起し(苗の確保) ・5月親子ショウブ植栽 ・6月マコモダケ親子田植え体験会/植物観察会 ・7月親子ホタル観賞会 ・9月マコモダケ親子収穫体験会/試食会 ・10月親子座学学習会 5. 会員の拡大
関東地区	<ol style="list-style-type: none"> 1. ビオトープフォーラム in 静岡 2023 運営協力 2. 自治会・学校ビオトーププロジェクト継続支援実施 <ul style="list-style-type: none"> ・村松小ビオトープ ホタル放流会(東海村) ・前渡小ホタルの里 ホタル観察会(ひたちなか市) ・常葉台ビオトープ ホタル観察会(ひたちなか市) ・高野宿ビオトープ ホタル観察会(ひたちなか市) ・高野宿ビオトープ生物調査実施 計3回 3. 地場ホタル飼育活動の継続実施 4. 水戸市立上大野小学校ビオトープ運営管理協力 5. 港区立赤羽幼稚園園庭ビオトープ運営協力 6. Facebook等SNSを使った地区情報発信の継続 <ul style="list-style-type: none"> ※Facebook:「日本ビオトープ協会 関東支部」 7. 他団体との情報連携強化 8. 会員拡充
北陸・信越地区	<ol style="list-style-type: none"> 1. ビオトープ現地観察会の開催(ビオトープ管理士会富山の共催) 2. 講演会(射水ビオトープ協会との共催)・先進地視察研修(富山県ビオトープ協会との共催)の開催 3. 県内ビオトープ関連団体との交流及びコラボ事業の開催 4. 会員の拡大

静岡地区	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「ビオトープフォーラム in 静岡 2023」開催 ・フォーラム 2023.6.23、見学会 2023.6.24 2. 静岡地区会の開催 4月 3. 麻機遊水地保全活用推進協議会の参加 4. 麻機湿原を保全する会 活動支援 ・夜の昆虫観察会 8月 ・サクラタデ観察会 10月 5. 「ホタル水路づくり研修会」への協力 4. 中町浄水場里山再生 指導及び協力 5. 学校、福祉、企業ビオトープ維持管理支援 6. 静岡地区会の開催 7. 会員の拡大
中部地区	<ol style="list-style-type: none"> 1. 中部ブロック会議の開催 2. BA 認定・更新研修会の開催(令和 5 年 10 月) 3. SDGs AICHI EXPO 2023 in Aichi Sky Expo 出展予定 日時 2023 年 10 月 5 日(木)～7 日(土) 10:00～17:00 会場 愛知国際展示場(Aichi Sky Expo)展示ホール A 4. 企業ビオトープの見学研修会開催予定 5. 協会本『ビオトープづくりの心と技』の販売活動 6. 会員募集 法人・個人会員(法人会員 1 社 入会予定)
近畿地区	<ol style="list-style-type: none"> 1. 盤石跡地調査 第1回 6～8月調査予定 2. 蒲生の湯 小さなビオトープ池調査 第1回 9月～10月予定 3. 竜王町貯水池 動物、植物調査・観察会 10月～12月予定 4. 希望ヶ丘文化公園観察会・調査 5月～翌3月 5. 会員拡大
中・四国地区	<ol style="list-style-type: none"> 1. 古鷹山ビオトープ観察会 第1回 6月頃を予定 第2回 10月頃を予定 2. 地区内でビオトープづくりの相談事業 3. 呉市の津久毛の地区ビオトープの指導 4. 企業のビオトープ観察会のアシスト 5. 会員拡大
九州地区	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域自治区・学校ビオトープ活動支援 2. 海岸浸食状況把握・日向灘ウミガメ孵化送り出し会 3. 蛍の里環境清掃・学習会 4. SDGS の 17 項目の 2. 7. 14. 15 の推進 5. 会員拡充の継続呼びかけ

第4号議案 2023年度収支予算

2023年度収支予算書(案)

2023年4月1日から2024年3月31日

特定非営利活動法人 日本ビオトープ協会

単位 円

科 目	2022年度 予算額	2023年度 予算額	増減	備考	
I 経常収入の部					
1 会費収入	5,970,000	5,780,000	-190,000		
2 事業収入					
① ビオトープ技術者養成事業	600,000	750,000	150,000	主席・BA認定研修会・更新、スキルアップ・提案講座等研修会受講料	
② 事例集	75,000	40,000	-35,000		
3 助成金					
① ホタル水路づくり研修会※1	700,000	700,000	0	※1 農大教育後援会より助成金(研修会経費分)	
② ビオトープフォーラム in 静岡 2023※2		393,900	393,900	※2 花博記念協会助成金よりフォーラム経費	
4 寄付金	0	200,000	200,000		
5 前期繰越金	503,925	402,213	-101,712		
経常収入合計	7,848,925	8,266,113	417,188		
II 支出の部					
1 事業費					
① ビオトープ技術者養成事業	450,000	500,000	-50,000	会場費、講師料、資料、認定カード代等	
② ビオトープ啓蒙事業					
資料作成(協会誌、パンフ等)	500,000	500,000	0	協会誌、	
WEBサイト	34,760	34,760	0	サーバー利用料、メールリスト用サーバー利用料	
常設委員会	200,000	200,000	0	総務・情報・研修・技術、他	
特別委員会・その他委員会	200,000	200,000	0	顕彰、他	
シンポジウム・セミナー	300,000	650,000	-350,000	設立30周年記念ビオトープフォーラム	
各地区委員会活動費、他	400,000	400,000	0		
伊勢原・ホタル水路づくり	700,000	700,000	0		
事例集	42,000	23,000	19,000	ビオトープづくりの心と技	
2 管理費					
旅費交通費	150,000	120,000	30,000	管理費各科目に総会関連費用含む	
通信費	170,000	140,000	30,000		
会議費	30,000	30,000	0		
図書費	10,000	10,000	0		
支払手数料	20,000	10,000	10,000		
地代家賃	696,000	696,000	0		
水道光熱費	60,000	60,000	0		
損害保険料	6,000	6,000	0		火災保険
手数料	0	63,800	-63,800		事務所更新費・不動産手数料
給与	3,060,000	3,060,000	0		
法定福利・福利厚生費	514,000	520,000	-6,000		
租税公課	700	700	0		
備消耗品費	50,000	50,000	0		
印刷費	50,000	50,000	0		
雑費	150,000	150,000	0		自然環境復元学会賛助会費、他
静岡事務所	0	0	0		
3 予備費	55,465	91,853	-36,388		
経常支出合計	7,848,925	8,266,113	-417,188		
経常支出差額	0	0	0		
III その他資金収入の部					
受取利息	0	0	0		
次期繰越正味財産	0	0	0		

※各科目への流用を認める

第 5 号議案 役員の改選について

本協会定款第 14 条により、理事及び監事を改選する。

<https://www.biotope.gr.jp>